

ガボン共和国月報（2015年1月）

2015年1月号

在ガボン日本国大使館

主な出来事

【内政】

- ボンゴ大統領による国民向け年頭演説
- 米国によるガボンの政治対話促進の働きかけ
- 2015年政府予算案見直しに係る政府協議の実施

【外政】

- ボンゴ大統領による仏テロ事件抗議デモ参加
- UNOCA声明（ボコ・ハラム：カメルーンへのチャド部隊派遣に係る支持）
- ボンゴ大統領の第24回AU総会出席

【経済】

- インド企業とのオカンジャ鉱山開発契約締結
- ONEPストライキによる原油減産（仏モレル・プロム社）
- 農業・養殖・畜産振興に向けたモロッコ企業との協力

【内政】

1 ボンゴ大統領による国民向け年頭演説

新年にあたり、ボンゴ大統領は、恒例の国民向け年頭演説の中で、原油価格の下落によって国内経済状況が悪化しているが、社会契約（Pacte Social）の実現に向け、貧困層、及び若者及び女性等の社会的弱者を支援するための改革政策を継続する決意を表明。また、同大統領は、ガボンの平和・安定・統一の維持に向け、野党勢力との対話を重視する考えを表明するも、対話の条件として、同大統領に対する憎しみ、復讐心及び暴力を放棄するよう野党に呼びかけた。（2日付UN）

2 2015年政府予算案の修正

5日、ガボン政府は、今般の原油価格下落が当分の間継続すると予想し、マクロ経済の安定化を狙い、主に投資予算を下方修正する等、政府予算案を見直す旨発表した。（5日付UN）

3 野党ジャン・ピン氏宅に対する襲撃

12日、午前8時30分頃、約200人の不良少年の一団が、リーブルビル市内の野党指導者ジャン・ピン氏（前AU委員長）宅に対して投石、放火行為を行った。同氏が急遽呼び集めた野党の支持者が一団の一部を取り押さえ、同氏に怪我等は無かった模様。（13日付AFP）

4 米国によるガボン政治対話促進の働きかけ

12日、アクエテ当地駐在米国新大使は、声明を発表。同声明の中で、与野党間の緊張が

高まりを見せているガボンに対し、米国は、ガボンの政情を注視しており、ガボンにおける良識ある政治討論を支持・促進し、実質的なテーマに係る賢明な意見交換及び建設的な対話が民主主義の促進に資すると確信している旨、及び米国は憲法に反する手段を用いた政権の交代を強く非難する旨述べた。(13日付UN)

5 ジャン・ピン氏に対する訴追

16日、12日に発生したジャン・ピン氏宅に対する投石及び放火事件に関し、検事は、右犯行に及んだ若者を訴追すると共に、右若者を監禁した容疑でジャン・ピン氏を訴追した。(17日付UN)

6 2015年政府予算案見直しに係る政府協議の実施

25日、23日から実施されていた2015年政府予算案の修正に係る協議が終了し、臨席したボンゴ大統領に右報告書が提出された。右協議は、昨今の原油価格の低迷を受け、ボンゴ大統領自ら、オナ・オンド首相に対し、2015年政府予算案の見直しを求めて実現したものである。(26日付UN)

【外政】

1 ボンゴ大統領による仏テロ事件抗議デモ参加

11日、7-9日に仏で発生した一連のテロ事件を受け、アリ・ボンゴ大統領は、急遽訪仏し、オランド仏大統領及び他国首脳他と共に、右事件の犠牲者追悼及び表現の自由を訴えるデモ行進に参加した。今次デモ行進参加は、同大統領にとって、表現の自由を始めとする全ての自由に対する重大な侵害であり、決して正当化することが出来ない卑劣な行為に対するガボンの断固とした非難を再度表明する機会となった。(12日付UN)

2 UNOCA声明(ボコ・ハラム：カメルーンへのチャド部隊派遣に係る支持)

19日、当地国連中部アフリカ地域事務所(UNOCA)は、アブドゥレ・バティリ国連事務総長特別代表兼UNOCA当地代表がボコ・ハラムと闘うカメルーンを支援するため同国への部隊派遣を決めたチャド政府の決定を高く評価する旨のプレスリリースを発表した。(19日付UNOCAプレスリリース)

3 ガボン・仏軍事協力

21日、ンプオ国防相は、オリヴェイラ仏艦隊副司令官と会談を行い、ギニア湾の安全保障につき意見交換を行った。(22日付UN)

4 ガボン・仏経済協力

27日、ガボンの森林エコシステムの持続可能な開発に向けた、ガボン・仏債務転換合意協定に係る第7回戦略委員会が開催された。同会合において、密猟の対象となる象の保護計画及び森林保護計画(右2件で総額132億CFAフラン)の実施に向けた協議が行われた。(29日付UN)

5 ガボン・米軍事協力

28日、ンプオ国防相は、駐ガボン米国大使率いる米国代表団の来訪を受け、アフリカ緊急オペレーションに向けた軍隊養成支援プログラム(ACOTA)の再開について協議を

行った。(23日付UN)

6 ボンゴ大統領の第24回AU総会出席

30-31日, アリ・ボンゴ大統領はアディスアベバで開催された第24回AU総会に出席し, 今般アフリカの脅威となっているエボラ出血熱やボコ・ハラムの対策に係る協議に参加した。また, 本総会マージンにおいて, 中部アフリカ諸国経済共同体(ECCAS)臨時首脳会合に出席し, 他加盟国首脳との間で, 中央アフリカ情勢やボコ・ハラムの拡大等の中部アフリカ地域の安全保障問題を中心に意見交換を行った。(31日-2月1日付UN)

【経済】

1 インド企業とのオカンジャ鉱山開発契約締結

6日, ガボン政府は, インド企業との間で, ガボン南東に位置するオカンジャ鉱山のマンガン開発に係る合弁事業契約を締結した。ガボン側オペレーターは, 国営SEM(Societe Equatoriale des Mines)社が担う。(6日付UN)

2 ガボン政府による対内債務の一部返済

12日, ガボン政府は, 総額180億CFAフランに上る対内債務(主に民間企業に対する工事費用不払い)のうち, 45億CFAフランの返済を実施した旨発表した。(12日付GR)

3 トタル・ガボン社による当地投資削減

22日, 今般の原油価格下落を受け, トタル・ガボン社は, ガボンにおける本年の投資額を約10%削減する旨発表した。(22・28日付GR)

4 ONEPストライキの影響(仏モレル・プロム社)

27日, 仏モレル・プロム社は, 全国石油従業員労働組合(ONEP)のストライキを受け, 1月上旬期の生産量/日が約65%減少したが, 現在では生産量/日が2万バレルまで回復している旨発表した。(27日付UN)

5 農業・養殖・畜産振興に向けたモロッコ企業との協力

27日, ガボン農業相は, モロッコMEDZ社社長との間で, ガボンにおける農業・養殖・畜産の複合施設建設の実現可能性に関する調査に係る協定に署名した。(27日付UN)

出典:PR(大統領府公式HP),UN(ユニオン紙),GM(ガボン・マタン紙),GN(ガボン・ニュース電子版ニュース),AFP,GA(Gabonactu.com),GR(ガボン・レヴュー電子版ニュース),LG(ル・ガボン電子版ニュース),GE(ガボン・エコ電子版ニュース)